

LEVEL

1



で か  
デカリんご



朗読音声のダウンロード  
Audio download

## よ まえ ★読む前に Before you read

### 《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



### 《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



わたしは赤いりんごです。  
あか

日本の北の、  
にほん きた

山田さんの畑で生まれました。  
やまだ はたけ う



わたしは、とても大きかったです。  
おお



やまだ  
山田さんは、畑のりんごを

ぜんぶ  
全部とりました。

まち  
そして、町で売りました。

でも、わたしをとりませんでした。

かな  
わたしは悲しいです。



ときどきことり小鳥きが来きます。

わたしと話はなします。

小鳥ことりはわたしともの友ともだちです。



こ  
子どもたちは言います。

おお  
「大きいりんごだなあ」

でか  
「デカいりんごだなあ」

でか  
「デカい！ デカい！ デカリんごだ」

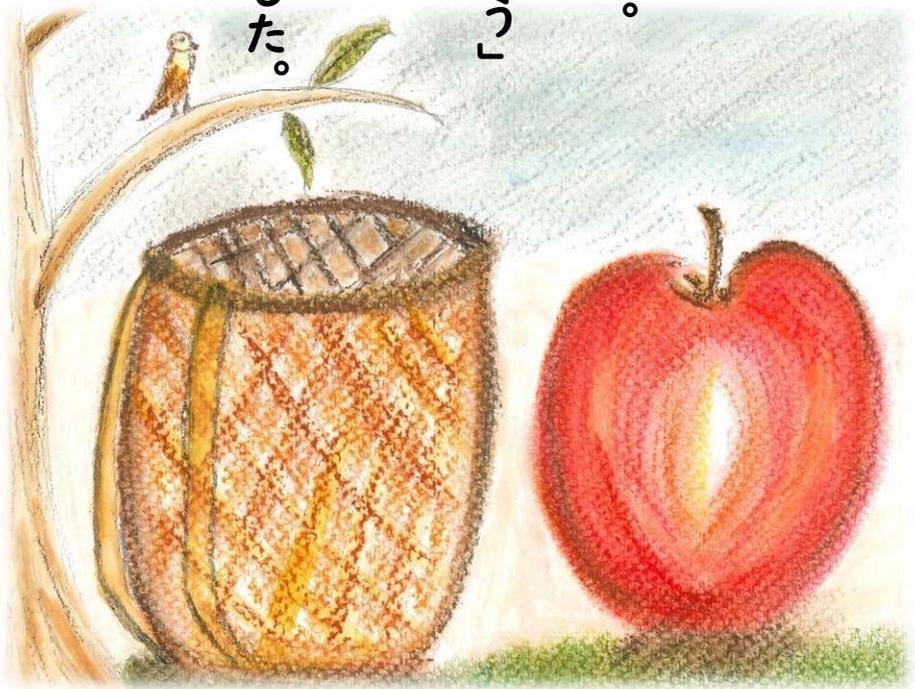


ある日、山田さんは言いました。

「このデカリんごも売りましょう」

山田さんは、

大きいかごにわたしを入れました。



わたしは山田さんと町へ行きました。  
やまだ まち

町の人たちは、  
まち ひと

わたしたちをジロジロ見ました。  
じろじろみ

「デカいりんごだなあ」  
でか

町の人たちは笑いました。  
まち ひと わら

だれもわたしを買いません。  
か



やまだ  
山田さんは言いました。

つか  
「疲れたなあ。重いなあ」  
おも



もう夕方<sup>ゆうがた</sup>です。

やまだ  
山田さんは、

わたしをかご<sup>だ</sup>から出<sup>だ</sup>しました。

そして、川<sup>かわ</sup>に捨<sup>す</sup>てました。

やまだ  
山田さんは家<sup>いえ</sup>に帰<sup>かえ</sup>りました。



わたしは、何日も何日も  
なんにち なんにち

川の中にいました。  
かわ なか

とても疲れました。  
つか



うみ き  
海に 来 ました。

とお み  
わたしは 遠くを 見 ました。

き  
木が たくさん あり ます。

ちい しま  
それは 小さな 島 でした。



しまこ  
島の子どもたちが来ました。

なに  
「これ、何？」

あか  
「赤いね」

おお  
「とっても大きいね」

た  
「食べたいね」



子どもたちは、ムシヤムシヤと

わたしを食べました。

「おいしいね」

子どもたちは、うれしいです。

わたしも、とてもうれしいです。



今、わたしはとても幸せです。  
いま しあわ





# で か デカリんご

発行日 : 2021 年 10 月 10 日

なかのまゆこ  
作 : 中野真由子

とくながゆか まつだみどり  
協力 : 徳永由佳 松田 緑

監修 : NPO 多言語多読

この本は、NPO 多言語多読会員が読みもの作成ワークショップで作りました。



NPO多言語多読

tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>